

## 1 社会・治安情勢

### (1) テロ情勢等

イスラム原理主義等の国際テロの当国への浸透は今のところ確認されていないが、当局はそのような状況の発生を未然に防ぐため、警戒を強化している。国際テロ関係の暴力的な集団は認められない。

また、日本人を標的とした営利目的の誘拐等に関する情報についても確認されていない。

### (2) 一般治安・犯罪状況等

新型コロナウイルス感染症対策に基づいて経済社会活動が制約を受けてきたことがザンビア社会の各所に影響を及ぼしている。一方、昨年の農業生産が好調だったことで、地方における治安の不安定化要因は低減したと見られる。新型コロナウイルス対策が比較的奏功していることもあり、犯罪の発生は今のところ低く抑えられているが、最近、車上荒らしが増加傾向にある。また、窃盗、置き引き、ひったくり、スリ等の一般犯罪は依然として目立つ。

### (3) 社会情勢

ア 8月実施予定の大統領選挙に向けて、各政党関係団体の活動が徐々に活発化している。昨年12月23日には、野党UPND党首の警察出頭に伴う同政党関係者による暴動が発生し、デモ隊と警察との衝突の際に2名が死亡した。

イ 電力供給は依然として安定しているとは言えず、地域によっては日に10時間程度の停電が発生し、人々の生活に重大な影響を及ぼしている。これらが特に貧しい階層の人々の不満の増大につながり、治安情勢にも悪影響を及ぼすことが懸念される。

## 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 在留邦人が多数居住するルサカにおいても車上荒らし、住居侵入などが断続的に発生している。また、コンパウンド内では日中であってもスリや放火などが発生している。

### (2) 邦人被害事案

当該事案の発生は認知していない。

### (3) 邦人以外の被害事案

10月28日19時頃、ルアプラ州で中国人ビジネスマンがAK47と拳銃2丁を所持した5人の犯罪集団に襲撃される事件が発生。帰宅時に門を開けたところを待ち伏せされ、家に保管していた現金5,000クワチャ等と店に保管していた25万ウォンが奪われた。また、犯罪集団は被害者に暴行を加えるとともに監視カメラ機器を破壊。さらに犯行中に被害者宅前を通行した目撃者も被害者家族とともに一連の犯行が終了するまで拘束した。

- 3 テロ・爆弾事件発生状況  
当該事件の発生は認知していない。
- 4 誘拐・脅迫事件発生状況  
当該事件の発生は認知していない。
- 5 日本企業の安全に関する諸問題  
問題とされる情報に接していない。